


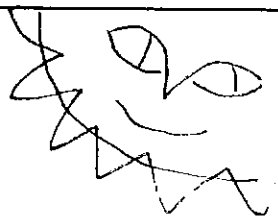
# 季刊 **みんな仲間**

2011  
7/7  
No.150  


〒610-0121 城陽市寺田垣内後69-1  
TEL0774-55-5583

城陽障害児者生活労働センター“うおーく”  
みんななかま作業所  
メールアドレス mnakama@khaki.plala.or.jp

## きょうされんからの報告



きょうされんから報告をします。

去る3月11日に発生した東北地方太平洋地震により、東北地方、関東地方を中心に甚大な被害が報道されています。被害に見舞われた方々に心からお見舞いを申しあげます。

みなさん、日中が暑くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？今年の夏は節電ブームらしいですね。

5月7日～8日に京都支部総会を文化パークにて行ないました。今年はなんと、洛南ブロックが中心となって支部総会を準備することになったのですが、みなさんのおかげで事故や大きなトラブルもなく終えることができ良かったです。

「障害のある人の人権保障にもとづく関連法体系の抜本改正と東日本大震災」をテーマに、活気あふれる会場は常に満席に近い状態でした。

ふだん会えない人達との交流ができるということも支部総会の魅力です。交流会では学習会で学んだネアンデルタール人をモチーフとした演出をしました。

前半の舞台では「大昔の時代は障害者を助けながら共存していたのに、今の時代は応益負担が必要なんておかしい」と原始人の格好をして訴えました。

後半ではマイケルジャクソンに扮したダンサーが、キャラクターに変装した僕らを紹介し全員で輪を作り、We Are The Worldをみんなで歌い楽しい雰囲気の中大盛況でした。

助け合い共に生きる喜びはすばらしいと思います。

「きょうされんはひとつ。未曾有の事態を全国の仲間の力で乗り越えよう」ということで、被災地へのメッセージを来てくださった方々に寄せ書きをしてもらいました。

僕は案内係担当でいろいろなことを学びました。

看板作りや、アフロのカツラをかぶり誘導したり、よい経験となりました。

次の担当は5年後に回ってきます。

大変ですが楽しみです！

(文責 西村)



## Amiグループ

amiグループ2年目がスタートしています！

前回のお便りにも書かせていただいたのですが、あっという間に終わってしまった2010年度。仲間10人がみんな個性的で、ペースもバラバラ。わが道をまっしぐらな仲間の集まりなのですが、昨年度の初めに比べると成長したなと感じる発見がたくさんあったので、紹介します。

原毛を使ってフェルトボールを作る作業では、道具を振って頑張って取り組んでいます。目で見ただけでは完成が分かりにくいので、なかなか集中出来ない仲間が多いのですが、日々の積み重ねでみんな根気よく道具を振る時間が少しずつ長くなってきました。アルミ缶などの回収後、車に乗っている荷物をみんなで降ろすのですが、以前は施設に戻ったら「作業おしまい」と思い室内に入ってしまった仲間が、施設に戻ってすぐに作業を終えてしまうのではなく、少しの声かけで所定の場所に荷物を運べるようになってきました。また、重たい古紙の入った袋を持つ事が出来なかった仲間が、しっかりと古紙を抱え、古紙置き場へ運べるようになってきました。

アルミ缶つぶしの作業を繰り返し行うことで、準備からプレス機にかけた缶を業者の回収袋に入れるまでの工程をほぼ1人で出来るようになった仲間もいます。大好きだった縫製仕事から少し距離を置いていた仲間が、色々な注文仕事をいただけるようになり、とってもいい表情で縫い上げてくれています。

今年度も、昨年度のがんばりをみんなでゆっくりもう一步成長できたらいいな。と思っています。

昨年度は、アルミ缶・ペットボトル・インクカートリッジの回収にご協力いただき、本当にありがとうございました。ご協力のおかげで、昨年、1年間でリサイクル関係の収入がたくさんあり、ボーナスを支給できました。今年度も、引き続きご協力よろしく願い致します。（文責：寺島）

## ほっぷ

新年度が始まりました。

職員の異動をはじめ、行く人来る人様々で通所者にとっても大きな変化の時です。

ほっぷの体勢でいえば、職員が一名入れ替わりました。また、部屋も年度替りに伴い、より過ごしやすくなるように模様替えをしました。

新年度で気分も一新！今年度もよろしくお祈りします。

ところで、今年は一月から昼間と朝晩の気温の変化が激しく、施設内でも職員を含め風邪が流行りました。花粉症との兼ね合いや予防の為、マスクをつけてがんばって出勤する通所者もいました。

年度替りと風邪や花粉症による影響で、大変な年度スタートとなりましたが、通所者と一丸となってこの逆境を乗り越えていきたいと思います。（文責：山田）

## さくらんどグループ

さくらんどでは、「お給料をもってお買い物」という自分たちで稼いだお金で自分たちの欲しい物を買う取り組みを毎年行っています。今年度はグループを半分ずつに分けて、2日間で企画しました。

第1弾はファッション組(4名)で、郡山イオンに行ってきました。Tシャツやスニーカー、ズボンなどをそれぞれ購入しました。しかしその道のりはなかなか大変でした。限られた時間(1時間半)で、妥協せずに館内を探し回ったり試着を何回も繰り返したりで仲間も職員もヘトヘトでした。それでも、若干の時間オーバーとともに、ホントにホントにかっこいい・かわいいものを購入でき、ヘトヘト以上に充実感がありました。

第2弾はファンシーグッズ・雑貨組(5名)で、実はこれから行くところです。どんないい物が見えるのかとても楽しみです。

そんなさくらんどでは、お花屋さんから仕入れて花束を作り、配達するというお花の頒布も仕事として取り組んでいます。年間8回程度、1束800円ほどです。配達はその日のうちに車でお届けできる範囲に限られてしまうのですが、通所者の給与保障のために、ご協力していただける方を増やしていきたいと思っています。通年で買って頂けるとありがたいですが、その回毎にお花の種類や配達日をプリントでお伝えさせていただきますので、ご入り用のときだけ注文してくださっても構いません。

いかがでしょうか?「注文してもいいよ」と言っていただけ連絡をお待ちしています。どうぞよろしくお願い致します。(担当:かの Tel:0774-56-0073) 文責:中野

## フレンドチーム

5月2日にフレンドチームは、大阪府高槻市の「こいのぼりフェスタ」に行ってきました。車で城陽を出発し、淀川沿いを快適ドライブ。余り普段通らないルート風景におしゃべりも弾みました。久御山、枚方を過ぎ、高槻市内へ。街の中心に入ったところでなぜか大渋滞。5分で200mずつ進み、渋滞の先頭は警察署でした。「なぜ警察署があんなに大人気??」と思いつつ、横目で見ながら通り過ぎたのでした。理由不明の警察署前大渋滞を抜けたところを高槻駅前に入って行き、アル・プラザの駐車場へ。中へ入り、お弁当を買いにいきました。大型連休期間ということもあって、お弁当のラインナップが大充実。目移りしてしまい、みんななかなか決められず…。それでも最後には「これぞ!」と思うものをそれぞれ買って、歩いて現地へ向け出発。歴史を感じさせる裏街道の町並みを見ながら元気に歩きました。当日は5月らしい快晴で、歩くと汗ばむくらいでした。15分ほど歩くと「芥川」という川に到着。そこにかかる橋で視界が開け、先頭の人が「すごい〜!」と歓声。見ると青空のキャンバスをバックに1000匹のこいのぼりが元気に泳いでいたのです。近くまで行って見てみると、色んなこいのぼりがいて、手形でうろこを表現している保育園児達のこいのぼりなどはユニークでした。その河原は「桜堤公園」といい、きれいに整備されていて、さくらの木陰でお待ちかねの昼食タイム!5月の若草薫る河原で、お弁当も最高の味になりました。おしゃべりしながら楽しくおなかいっぱいお弁当をほおばりました。食後は河原で自由行動。川の中が浅く整備されているので、たくさんの子供達が楽しそうに川遊びをしていて、それを見ていたみんなもウズウズ…。ひとりがはだしになって川へ入ると、他の人も次々川の中へ。「つめたー!」と歓声をあげながら、とても気持ち良さそうな笑顔のなかまたちでした。最後にこいのぼりをバックに記念写真をパチリ。季節を感じたさわやかな一日でした。文責:松本

# New Face を紹介します

## アルバイトの中川智美さん

4月から“さくらんど”でお世話になっている中川です。京田辺市から来ました。毎日、3人の子育てを頑張っています。これから楽しくお仕事をやって行きたいと思っていますので、よろしくお願ひします。



## ショートステイコーディネーターの下岡知代さん

4月からみんぱはがまでお世話になっております。まだまだ分からずいそいそとだらけで不安もありますが、みんぱの“おれ”をかりながら頑張ろうと思っています。よろしくお願ひします m(●)m



## 看護師の藤田博子さん

H.22.12月から医療的ケア対象者の要員として採用していただきました。障害児の方との出会いは、548年からです。現在は、食事、保育、炊事、洗濯の対応が、日の経つのが早く、鬼つく暇もない毎日です。自身もタグで市内を駆けめぐっていますおれ。



間所して21年目。

そう教えきれはいいくらい職員の入れ替わりを経験してきました。こんな風に新しく力にあてられる人を迎えるのは、とてもとてうれいですが、でもその一方でやめていく職員もいて……。最近、体調を悪くしてというケースが続いていて心も痛めています。

つい先日、ラジオで“総理大臣の夏の賞与が480万円”というのを聞き、複雑な心境になりました。通所者の給与保障はもとより、福祉現場の職員が、イキイキ働かせ続けられるよう、処遇改善を求めることは、そんなには賛決なことではのでしょうか!? (かの)

# ケース検討会報告



普段の取り組みや個人のケースを、発達保障の見解から検討することで、よりよい取り組みを作っていくなどの目的で、今年度から新たにケース検討会を毎月行うことになりました。第一回めの発表は、ほっぷグループ。初の試みなので、何をどう伝えていけばいいのか分からないまま、とりあえずグループとしての実践を自分なりに振り返ってみました。改めて振り返ってみることで、グループにスポットをあてるからこそ見えてくる個人の発達があったり、個人の頑張りがあるからこそグループとしての発展があたりして、それをひとつひとつ丁寧に振り返りながら文章化していき、当日発表することになりました。話をしながら、原稿にあれもこれもと付け加えていったら、あつという間に時間がオーバーしてしまい、発表の難しさを改めて感じました。しかし、実践を改めて振り返ることで、今後も継続していきたい点や、改善していきなげやいけない点などが、たくさん見えてきました。反省を活かしつつ、実践を積み重ねていくことで、グループとして、法人の組織として、更なる発展をしていきたいと考えています。

(文責: 浦田)

## そうめん！素麺！ソーメン！

### 徳島県 半田産のそうめん

溜・芝 5Kg 4000円 3Kg 3500円  
細 3Kg 3700円



※麺はふとめで、たべごたえ十分です。

愛好家から頂いた一言

「すいません。つつい食べてしまいます。そんなことだから夏バテにもならないのか・・・。」

## 麦茶もいけど 万能茶

ひやしてもおいしい万能茶。

大阿蘇万能茶 500円

田舎麦、はと麦、どくだみ、ハブ茶、プーアル茶  
など17種を原材料にブレンド



今なら、みんななかまにご協力頂いたうえに、他のお店より安いかも？  
是非 ご購入宜しくお願いします。

## 苦情解決規程について

施設に対してよせられる苦情については

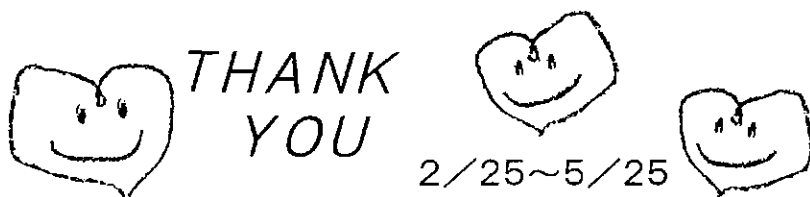
① 苦情解決受付者(主任 浦田・松本)→ ② 苦情解決責任者(施設長 竹内)  
というのが基本的な流れです。

でも直接施設には、いいにくい、伝わってない。そんな場合には「第三者委員」に直接話して頂いてよいのです。

「第三者委員」を当法人では、監事の近藤さんと、ボランティアの高畠さんをお願いしています。それは、苦情解決規定における「公正・中立な立場で苦情の解決を目指す方」となります。

このようなシステムは福祉事業については、整備がすすんでいます。高齢者介護の分野や児童福祉部分でも整備がされているはずですが。皆様がもしそのようなサービスを利用されていれば、一度調べておく、目をとめておくことをおすすめします。

「みんななかま」が法人となり、いろいろな規程が整備されていますが、いろいろな形でニーズ・要望をくみ上げる事、これがまず大事と考えています。上手に「仕組み」を活用して頂きたいと思います。(文責 土居)



☆ ボランティアにきてくださった方々☆

大島 廣行様 吉田 万三様 渡辺 岳様  
三木 正治様 難波 律子様 古谷 八重子様  
服部 俊子様 綱島 由樹様 藤本 美代子様  
布村 愛子様 谷 房代様 森藤 美智子様  
田中 康子様 中谷 恵子様 越村 千恵子様  
高橋 良子様 西出 秀子様 宇野 美代子様  
今井 恵美子様 ポストレディ様

☆ 寄付して下さった方々☆  
匿名様

☆ 製品を置いてくださっているお店☆  
NIPPON DINING DIVE様  
Rencontre様  
Ra Baum様

## みんななかま後援会新規ご入会・ご更新のお知らせ

みんななかま後援会は、「みんななかま作業所」「みんな仲間教室」を財政的に支援してだけでなく「後援会まつり」なども開催し、地域に施設と地域をつなぐ役割も果たしていくために活動しています。施設法人に対する助言や各種の団体とのつながり作りなどもできればと思います。これからもぜひ「みんな仲間教室」「みんななかま作業所」を支援する「みんななかま後援会」に一人でも多くの方に入会していただけるようお願い致します。

個人1口1000円  
団体1口3000円

何口でも歓迎いたします。

口座名義 みんななかま後援会  
口座番号 01080-5-19224  
住所 城陽市寺田垣内後69-1  
電話 0774-55-5583